

岐阜市の自然情報調査（令和4年3月更新版）

1 調査期間

令和元年度～令和3年度の3年間

2 調査対象

岐阜市に生息する以下の野生動植物種を対象とした。なお、地形・地質、自然景観及び植生については、前回調査から大きな変化はないと考えられるため、調査の対象から除外した。

- ・植物種、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類（十脚類）の9分類群

3 調査方法

調査対象種（甲殻類（十脚類）を除く）ごとに専門家で構成する調査部会を設置し、調査部会ごとに現地調査、既存資料・文献調査、聞き取り調査などを実施した。なお、甲殻類（十脚類）に関しては、各種調査で得られた情報を収集した。

4 現地調査方針

調査部会ごとに、調査部会長が現地調査対象の候補となる既存レッドリスト選定種及び境界種等の検討種を抽出し、優先的に調査を行うこととした。

なお、各調査部会の調査部会長、調査対象及び調査対象種についての考え方は、表1のとおり。

表1 各調査部会における調査対象及び調査対象種の考え方

調査分類群	抽出・選定の考え方	
植 物	調査部会長	近藤 慎一（岐阜県植物研究会 会員）
	調査対象	・既存レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先的に抽出
	調査地点	・調査地点は既調査地点及び結果を参考に抽出
哺乳類	調査部会長	梶浦 敬一（ぎふ哺乳動物研究会 会員）
	調査対象	・全種を対象とするが、既存レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地確認が必要とされた種を優先的に抽出 ・大型哺乳類は市の有害獣対応記録で補完
	調査地点	・既調査地点及び結果を参考に抽出
鳥 類	調査部会長	大塚 之稔（日本野鳥の会 岐阜 顧問）
	調査対象	・市内で繁殖している鳥種については春季～夏季の繁殖期に現地調査を実施 ・市内に飛来する渡り鳥については「日本野鳥の会岐阜」からの情報提供により補完
	調査地点	・繁殖期調査は市内を基準地域メッシュで分割（230メッシュ）し、各メッシュの代表地点にてラインセンサスを実施
爬虫類	調査部会長	楠田 哲士（岐阜大学応用生物科学部 准教授）
	調査対象	・カメ類に絞って現地調査（トラップ調査）を実施 ・その他の爬虫類は全調査員からの目撃情報を収集

	調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・既調査地点の中から、特に現地調査が必要とされた地点を優先的に抽出 ・市内全域の主な河川、水路を網羅する形で調査地点を設定
両生類	調査部会長	高木 雅紀（岐阜県立大垣北高等学校 教諭）
	調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・カエル類に絞り現地調査（産卵調査、鳴き声調査、目視調査）を実施 ・その他の両生類は全調査員からの目撃情報を収集
	調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・産卵調査、目視調査は既調査地点を参考に抽出 ・鳴き声調査は市内の水田地域全域を網羅する形で調査地点を設定
魚類	調査部会長	寺町 茂（水圏域研究会、岐阜県自然共生工法研究会 理事）
	調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先して調査
	調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・既調査地点の中から、特に重要と考えられる地点を優先的に抽出 ・市内全域の主な河川、水路を網羅する形で調査地点を設定
昆虫類	調査部会長	野平 照雄（岐阜県昆虫分布研究会 会員、一般財団法人 自然学総合研究所）
	調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先して調査
	調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・既調査地点の中から、特に重要と考えられる地点及び環境要素を勘案し優先的に抽出
貝類	調査部会長	川瀬 基弘（愛知みずほ大学 人間科学部 准教授）
	調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・レッドリスト選定種及び境界種のうち、特に現地調査が必要とされた種を優先して調査
	調査地点	<ul style="list-style-type: none"> ・既調査地点の中から、特に重要と考えられる地点及び環境要素を勘案し優先的に抽出

5 調査結果の取りまとめについて

調査結果は、可能な範囲で調査年月日、地点情報（地名、位置情報、メッシュデータ）、調査情報の記録（現地・文献・資料調査、確認方法、調査者、同定者、標本・写真の有無）を確保し収集した。収集した調査結果に分類情報、重要性情報などを付加し、データベース化した「岐阜市自然情報データベース（令和4年3月）」を作成した。

6 収集件数等

岐阜市の自然情報調査（令和4年3月更新版）で収集した情報の件数は148,896件であった。また、情報のあった野生動植物種数は、植物1,805種、哺乳類35種、鳥類241種、爬虫類18種、両生類17種、魚類74種、昆虫類4,713種、貝類107種、甲殻類8種の合計7,018種であった。

7 調査結果の公開について

調査結果の公開については、令和4年度に改訂予定の「岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト」と合わせて公開する。

公開内容は、上記5で作成した「岐阜市自然情報データベース（令和4年3月）」から公開可能な情報のみを抽出したデータベース（「生物データベース（令和4年3月）」）を岐阜市役所公式ホームページに作成する。